

こうとう民報

2022年11月号 No212

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ http://www.koto-minpo.jp/

「区民によりそう江東区長を誕生させる会」発足



江東区政刷新へ一歩踏み出す 区長選予定候補者に芦澤礼子氏

来年4月の江東区長選まで5か月と迫った11月8日、「区民によりそう江東区長を誕生させる会」の設立集会在江東区文化センターで開催され、政治団体の設立届、「会」の規約、役員の紹介に続いて、予定候補者として芦澤礼子氏が「江東区政改革 みんなのビジョン」を明らかにしました。参加者は江東区政を考える会、江東市民連合を中心に80人を超え、立憲民主党の基野ゆずる、共産党の大つきかおり、正保みきお、赤羽目たみおの各区議も駆けつけました。

設立集会のスローガンは「変えよう江東区 産み出そう、新しい区長を！」。榎本区議(当時)による汚職事件、区議会本会議での星野議員による「パートナリシップ制度」への攻撃、江東区長が前言を翻して国葬当日に半旗を掲げた問題、コロナ禍でも区独自の施策が不十分で暮らした福祉、子育てと教育の劣化も進んでいること、防災対策やまちづくりでも問題があり、「江東区政はどうなっ

ているの？」という声が聞こえています。現状分析をもとに準備を進めてきた「誕生させる会」代表の宇都宮健児弁護士が、候補者選考委員会から本人に要請し快諾された経過を報告。続いて芦澤礼子氏が登壇して自己紹介。

「区内で介護の仕事をして、これまで見えていなかったことが見えてきました」「区政は区民のためにあるべき。今は区民の原石ですが、磨いてい

ただきたい」と決意を表明しました。今後、個人や諸団体との懇談会を積み重ねて「みんなの要望で改革ビジョンを充実させよう」と、市民ぐるみの運動が提起されました。

のスタッフに従事。中国四川省で日本語教師。帰国後、沖縄の米軍人・軍属による事件被害者支援に取り組み。社民党衆議院議員秘書を経て、2017年10月「市民と政治をつなぐ江東市民連合」、19年2月「江東区政を考える会」の立ち上げに参加。現在、訪問介護員。江東区在住。

新婦人創立60周年で岸本杉並区長が講演

1962年に平塚らいてう、いわさきちひろらの呼びかけで創立され、日本最大の女性団体である新日本婦人の会。東京都本部が「創立60周年記念のつどい」を、都内の各支部や会員をインターネットの「ズーム」でつないで11月5日に開催。江東支部も江東区文化センターの和室にパソコンとプロジェクターを設置して参加しました。

岸本氏は、初めての区議会での古い価値観のままの議員相手の質疑の紹介や、区長となると、例えばジェンダー問題



視聴する参加者

のデモなどへの参加が問題視されることなど、具体的な事例を交えながら、スタートした奮闘ぶりを語りました。参加者から「江東区でも区民思いの区長を誕生させたい」という感想が出されました。

木枯らしの季節がめぐってきました。コロナ禍は一向に終息する気配がありません。岸田政権は完全に行き詰まってきました。コロナ対策では、財務省がワクチン接種の国庫負担や医療機関への補助などの廃止まで言い出しました。全国の感染者が連日10万人を超えても、個人や地方自治体に対策は丸投げです。統一協会汚染は地方政界にもひろがり、物価高に対応する政治力が求められているのに、山際大臣の辞任、「死刑にハンコ」の法相更迭と「閣僚の辞任ドミノ(将棋倒し)」。政治とカネ疑惑で総務相や復興相が追及されている始末です。39兆円の総合経済対策の使途には、辺野古米軍基地建設関連事業やミサイル整備が含まれ、その財源は増税か赤字国債。地球危機に備えるCOP27では、化石燃料開発に1兆6千億円も投資して世界に逆行し、3回目の化石賞です。日本共産党は、大軍拡・増税の対案「優しく強い経済へ」と緊急提案を発表。法人税・所得税制改革や富裕税創設、軍事費削減などで27兆円の財源をつくり、賃上げ・消費税5%減税、インボイス中止、食料とエネルギー自給率向上をめざします。江東区では、1712億円の基金の一部で「学校給食無償化」など三つの無料化、一つの助成を公約に掲げます。

江東区議会は、11月24日から12月15日までを会期に、第4回定例会が開かれます。24日の本会議では、赤羽目たみお区議が共産党区議団を代表して質問を行い、①国民健康保険制度②介護保険制度③マンション対策について、山崎区長の政治姿勢を質します。国民健康保険制度では、

とりあげ、反対の声が広がっている保険証廃止の撤回を国に求めよと迫ります。介護保険制度では、厚労省が、改定に向け検討して

に、介護人材確保策の拡充、特別養護老人ホームの増設、介護負担の軽減を求めます。マンション対策では、区が今年3月に公表した「マ

いる、利用料の2割・3割負担の対象拡大や要介護1・2の通所介護等の保険外し、ケアプランの有料化など大改悪は検討中止を国に求めるべきと質問します。さら

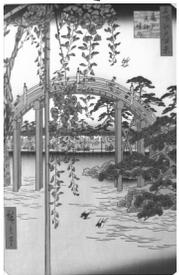
「区民から寄せられた「高すぎて払えない」との声を伝え、来年度保険料の引き下げを求めます。また、政府が進める保険証とマイナンバーカードの一体化問題を

「誰もが安心して暮らせる区政の実現に全力！」

(11月20日記)

改訂 江東風土記抄 (46)

第4部 亀戸・大島 亀戸天神



広重「亀戸天神境内」

九州大宰府天満宮の神職、大鳥居信祐が1646(正保3)年に夢のお告げで、社前の飛梅の木で菅原道真像をつくり、社地を求めて亀戸村の今より東の小さな祠に、1661(寛文元)年、神像を祭りました。その2年後、現在の2644平米の土地に大宰府天満宮に似る社殿、太鼓橋、心字池などを造営しました。

正月初卯の日は、卯杖や卯槌を求めて初卯詣で賑わい、1月24・25日は初天神の日で鷲替の行事があり、受験生が集まります。(注)雀より大きい「うそ」の形に桧や柳に彫ったのを参道や境内の店で求め、それを神社でだすものと取り替える。古いうそに一年の罪やけがれを託して捨て、今年の幸運をもたらす新しいうそに替える。

礼祭は8月25日です。亀戸天神は、東京の藤の名所、大震災や空襲で梅は減るも、藤は植えつがれています。

境内には多くの石碑などが並んでいます。1781(天明元)年に塩原太助が奉納した石灯籠。万本店金蔵の大田南畝の銘がある力石と三井親孝書の力石。鷲替の由来を書いた碑。板垣退助、大隈重信らが発起人で1907(明治40)年にたてた中江兆民の碑。1868(明治元)年、両国高校付近で初めてマッチを製造した清水誠の碑。明治、大正時代に洋傘を製造した河野寅吉の碑。初代と三代豊国(五渡亭)の肖像を刻んだ碑。風化して読みにくい芭蕉、嵐雪、蓼太の句碑。根府川石に梅の図の碑。毎年7月25日に筆塚祭がある田中帰春、井村幾道、花仙堂、正木千佳の筆塚。その他二代西鶴の歌碑や玉光の句碑等々があります。

亀戸天神には、江戸狩野派の祖で家康や秀忠の信頼を受けて法印に叙せられた画家、狩野探幽が、1674(延宝2)年に73歳で亡くなる前年に描いた菅原天神像の掛軸があり、都の有形文化財の指定を受けています。



講師の赤羽目新児事務局長は、国税庁が今年8月に「300万円以下の副業収入は『雑所得』という所得税基

「雑所得」は、納税者の給与所得、事業所得、不動産所得の次に多く、公的年金や生命保険会社からの個人年金などもありますが、問題になるのが雑所得の「業務」に分類される、空いた時間にやるウーバーイーツ収入、主収入以外の原稿料・講演料・コーチをした際の

本通達改正案を出していることについて、「これまで税金の控除や節税ができた『事業所得』のメリットが使えなくなり、実質増税になる」と問題点を明らかにしました。

「雑所得」は、納税者の給与所得、事業所得、不動産所得の次に多く、公的年金や生命保険会社からの個人年金などもありますが、問題になるのが雑所得の「業務」に分類される、空いた時間にやるウーバーイーツ収入、主収入以外の原稿料・講演料・コーチをした際の

江東民商青年部は11月14日、副業収入が実質増税になる国税庁の「所得税基本通達改正案」と、インボイス(適格請求書等保存方式)導入への対応などの「税金学習会」を民商事務所で開催しました。不動産業者や駐車場経営、サラリーマンで副業をしている人、年商が低くインボイスへの対応に悩む人など10数人が参加し、熱心な質疑・感想が続く1時間半でした。

「インボイス」の問題も学習

江東民商青年部 実質増税の国税庁「通達」を分析

謝礼などの教授料など。これらは確定申告の際に「事業所得」になるという意見もありました。

赤羽目氏は「国税庁はグレーゾーンであった事業所得と雑所得に境界を引くことで納税額を増やしたい意図がある」と指摘しました。続けて「意見公募のパブリックコメントに通常のパブコメの70倍の7千件以上が集まり、国税庁は改正案を変更した」ことで、「帳簿をつけて領収書を保存しておけば事業所得として認められる可能性が高まりました」と解説しました。



亀戸駅北口に集合した一行は、除村裕日中友好協会 東京都連・文化委員会副委員長案内でバスで移動。

約250人が虐殺された大島6丁目を皮きりに、大島8丁目(174人)から江戸川区との境の逆井橋へ。その後、亀戸事件犠牲者の碑がある赤門浄心寺で、献花を行いました(写真)。

逆井橋付近で虐殺された王希天(中国人留学生)は、在日中国人の救済活動していましたが、亀戸警察に逮捕され、その後、9月12日未明、旧中川の逆井橋付近で陸軍の野戦重砲兵第1連隊が斬殺、死体は遺棄されました。

11月12日午後、江東区文化センター大研修室で、年金者組合江東支部主催の「うたう会」が開催されました。マスク着用でしたが、思い出の歌、懐かしい歌、元気がでる歌、平和への歌など、約30人の参加者からのリクエストから、約20曲をみんなで楽しく合唱しました。



歌のリードと司会は「歌声喫茶・ともしび」の山岸あかねさん、ピアノとアコーディオンを使い分けての伴奏は長尾勉さん。二人の巧みなリードで盛り上がり、2時間がまたたく間に。 ※「歌声喫茶・ともしび」は新型コロナウイルスの影響で2020年に新宿店が閉店。昔からの常連客たちが「ともしびを消すな」と支援。11月22日、新宿区高田馬場駅近くにオープン。

年金者組合江東「うたう会」

みんなで歌い心ウキウキ

日中友好協会 江東支部

関東大震災中国人殉難者 追悼散策

11月5日、日本中国友好協会江東支部主催で、関東大震災(1923年9月1日)の混乱に乗じて虐殺された朝鮮人、中国人の殺害現場のほとんどが大島にあり、殉難者の追悼を兼ねて現場の散策を行いました。今回の追悼散策には、20人が参加しました。

ることになり苦情が出る。かも」など具体的な悩みが他の駐車場へ移ってしまう 紹介されました。

- ★ 行事日程 ★
- 12月2日(金) ◆「東京大空襲を忘れない」 第一部 コーラスと講演 14時〜 第二部 講演と講演 18時〜 講師・伊藤士尊氏(江戸資料館)
- 12月4日(日) ◆フリーマーケット 10時〜14時 (大滝とおる森下事務所) 電話・fax 3846・0536
- ◆市民連合定例街頭宣伝 (詳細は後日)
- 12月9日(金) 17時30分 ◆党後援会学習決起集会 (テイアラフとつう大会議室)
- 12月10日(土) 18時30分 ◆防災を考える会 (江東市民連合)
- 12月15日(木) 10時30分〜11時30分 ◆年金支給日宣伝 (天島駅前) 年金者組合江東支部
- 12月17日(土) 14時 ◆水害対策講演会(砂町文化センター) 講師 土屋信行氏 江東区政を考える会